

安全にお使いいただくために

このたびは本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用前に必ず、この「安全にお使いいただくために」をよくお読みください。また、本書をお読みになった後は、いつでも見られるように大切に保管してください。

 警告	取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。
●煙が出ている、発熱している、変な臭いがあるなどの異常が発生した場合は、パーソナル機器修理受付センターにご連絡ください。	
●落としたり、ぶつかけたりして、強いショックを与えないでください。万一、本体が破損した場合は、パーソナル機器修理受付センターにご連絡ください。	
●万一、表示画面が破損して中の液晶（液体）が漏れた場合は、絶対に触れないでください。万一、口に入った場合はすぐにうがいをして医師と相談してください。また、もし液晶が手や衣服などに付着した場合は、直ちに石鹸で洗い流してください。	
●本機を分解したり、改造したりしないでください。火災や感電の原因になります。	
●電池は使い方を誤ると電池の破裂、液漏れにより、周囲の汚損やけがの原因になることがあります。次のことは必ずお守りください。 ・分解しない。 ・加熱しない、火の中に投入しない。 ・充電しない。	本機に使用している電池を取り外した場合は、子供が電池を誤って飲むことがないようにしてください。また、電池は幼児の手の届かないところに置いてください。万一、子供が飲み込んでしまった場合は、直ちに医師と相談してください。

 注意	取扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
●湿気やほこりの多い場所には置かないでください。火災や感電の原因になることがあります。	
●ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所、振動の多い場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。	

●本機の上には重い物を載せないでください。置いた物が倒れたり、落下して、けがの原因になることがあります。	
●本機の内部に、水や液体、異物(金属片)が入ると、火災や感電の原因になることがあります。その場合は、パーソナル機器修理受付センターにご連絡ください。	
●電池は使い方を誤ると電池の破裂、液漏れにより、周囲の汚損やけがの原因になることがあります。次のことは必ずお守りください。 ・指定以外の電池は使用しない。 ・極性（＋と－の向き）に注意して正しく入れる。 ・長時間使用しない時は、本機から電池を取り外しておく。	

2つのモードが選べます

本機には、通常の電卓として使用する電卓モードと、テンキーとして使用するテンキー（PC入力）モードの2つのモードがあります。本体とレシーバーとの接続が確立している際には、[テンキー][電卓]キーを使って、2つのモードを切り替えることができます（接続が確立していない場合は、電卓モードのみ使用できます）。

電卓モード

電卓モードのときは、電卓としての機能がそのまま使えます。また、計算結果をパソコンに送信することができます。

 ON/CA	電源オン/クリアオールキー ：電源を入れる時に押すキーです。計算中にこのキーを押すと、メモリも含めた全ての計算をクリアします（税率はクリアされません）。
 INC/CL/C	入力訂正キー ：入力した数値を訂正するキーです。誤って数値を入力した直後にこのキーを押すと表示がクリアされるので、正しい数値を入力し直すことができます。2回続けて押すと、計算途中の内容を全てクリアできます（メモリ計算の内容はクリアされません）。
 小数点	小数点桁指定キー ：演算結果の小数点以下の桁数を指定するキーです。指定位置は、小数点以下0、2、3桁、F（浮動小数点）です。[数]キーの後に[F]キーを長押し（2秒以上）すると、F→0・2→3→Fの順に表示が変わります（[F]キーを押し続けると表示が自動的に上記の順に変わります）。
 %±	パーセント・プラス・マイナスキー ：パーセント計算、割増し、割引き計算を行う時に使います。
 税率設定・税込	税率設定・税込み計算キー ：税率の設定、税込み計算を行う時に使うキーです。あらかじめ計算したい税率を設定することができます。設定した税率で税込み計算を行うことができます。
 税率確認・税抜き	税率確認・税抜き計算キー ：税率の確認、税抜き計算を行う時に使うキーです。[数]キーの後にこのキーを1回押すと、設定した税率が表示されます。また、設定した税率で税抜き計算を行うことができます。
 BS	バックスペースキー ：表示された数値を1桁ずつすらすり最下位桁をクリアするキーです。誤って入力した時に、1桁ずつ訂正することができます。

パソコンとの接続方法

本体裏面に収納されているレシーバーをパソコンに接続し、下記の手順で本体との接続を確立させてください。

- 本体及びレシーバーの裏面にあるチャンネル（「CHANNEL」）を、同じ番号に設定します。
 - パソコンのUSBポートに、レシーバーを差し込みます。

※必ず、パソコン本体のUSBポートに差し込んでください。パソコン本体以外のUSBポートでは正常に動作しない場合があります。
 - 接続後、USBドライバのインストールを行います。画面に表示されるメッセージに従って操作してください。

※使用するパソコン（OS）によっては、自動的にUSBドライバのインストールが行われます。
 - レシーバー上のライトが消えている状態で、レシーバー表面の「CONNECT」ボタンを押し、それから本体裏面の「CONNECT」ボタンを先端の細いもので押してください。レシーバー上のライトが点滅したら接続完了です（接続確立後、ライトは点灯状態となります）。
- <接続の確認：レシーバー上のライトで接続状況が確認できます>
- 接続確立時 ― ライト点滅後、点灯
 - 接続中 ― ライト点灯
 - データ受信中 ― ライト点滅
- ※接続されていない状態ではライトはつきません。

 注意	※接続作業は、必ず本体に乾電池を入れた状態で行ってください。 ※湿信等により本体とレシーバーの接続が確立できない場合は、本体及びレシーバーの裏面にあるチャンネルを、もう一方のチャンネルに切り替えて再度接続作業を行ってください。
--	--

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- 本機とパソコン間の通信には27MHzの周波数を使用しています。本機の近くで同じ周波数の製品をご使用になる際は、本機が正しく動作しない場合があります。
- 本機とパソコンを通信する際、近くに金属物がある場合は、通信距離が短くなることがあります。
- 本機を同時に複数台、至近距離でご使用になる際は、1台づつ別々にパソコンと接続してください。パソコンとの接続方法については、下の『パソコンとの接続方法』をご覧ください。パソコンとの通信のタイミングによっては、接続ができないことがあります。

お願いとご注意

- ・本機をふくときは乾いた柔らかい布をお使いください。絶対にシンナーやベンジン、ぬれ雑巾等はお使いにならないでください。
- ・液晶表示部はアクリルで、できていますので強く押さえないでください。
- ・低温の場所で使用すると、液晶表示の応答が幾分遅くなることがありますが、これは液晶の性質によるもので、故障ではありません。

仕様

型 式	：キャノン「KS-120TKR III」
表 示	：液晶表示 12 桁
演 算 桁 数	：置数、被演算数 / 演算数：12 桁
チャンネル数	：2 チャンネル
周 波 数	：27MHz
仕様 I D	：255 × 2 チャンネル
動 作 距 離	：約 1 m
※レシーバーの設置環境により異なります。	
使用温度範囲	：0℃～ 40℃
本体	：162 mm(奥行)x 100 mm(幅)x 35 mm(高さ)
レシーバー	：22.8 mm(奥行)x 66mm(幅)x 12.5 mm(高さ)
重量	：228 g（乾電池を含む）
電源	：太陽電池およびリチウム電池(CR-2032 × 1)、単 3 形乾電池 × 2 本
電池寿命	：単 3 形乾電池約 1 年（使用条件：通信 2 時間 / 1 日）
付属品	：レシーバー、単 3 形乾電池 × 2 本
◆改良のため、予告なく仕様の変更を行うことがありますので、あらかじめご了承ください。	

電 源

本機は、太陽電池とリチウム電池、乾電池の3電源を併用しております。電源は周囲の明るさにより自動的に太陽電池およびリチウム電池、乾電池に切り替わりますので、照度の弱い所でもご使用いただけます。

- ※パソコンとの接続には乾電池からの電源供給が必要です。乾電池容量が不足している場合には正常に動作しません。
 - ※乾電池容量が不足すると、画面に「電池交換アイコン」が点灯します。この場合、正常な動作を続けるため速やかに電池を交換してください。
 - ※ディスプレイ画面の表示が薄くなった場合は下の手順で交換を行ってください。
 - ※使用済みの電池は、＋極－極をテープで絶縁してから、お住まいの地方自治体の条例などに従って廃棄してください。
- ◆本機は約 7 分間操作を行いませんと、むだな電源消費を防ぐために自動的に電源が切れ、表示が消えます（オートパワーオフ機能）。この場合は、 キーを押すと、再び電源が入ります。

 本体裏面のRESETボタン	計算中にすべてのキーの機能が働かなくなる等の異常が発生した場合は、本体裏面のRESETボタンを先端の細いもので押してください。 ※RESET後は再度税率を設定し直してください。
---	---

 パーソナル機器修理受付センター （全国共通番号） 050-555-99088
 [受付時間] 9:00 ～ 18:00 （日曜、祝日と年末年始弊社休業日は休ませていただきます）

 キャノンお客様相談センター （全国共通番号） 050-555-90025
 [受付時間] 平日 9:00 ～ 20:00 土・日・祝日 10:00 ～ 17:00 （1月1日～1月3日は休ませていただきます）
 ※上記番号をご利用頂けない場合は、043-211-9632 をご利用ください。 ※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってはつながらない場合があります。 ※上記記載内容は、都合により予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。

2011年12月1日現在

 キャノンマーケティングジャパン株式会社 〒108-8011 東京都港区港南2-16-6 お問い合わせ先 050-555-90025
 E-IJ-1252

2011年12月1日現在 上記の記載内容は都合により予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。

◆計算を始める前に、必ず キーを押してください。		
 計算例	 操作	 表示
140－25＋22＝137 2×2 3＝6 －152×＋989＝－53 9÷5×3.2÷7－1＝11.76 (2÷4)÷3×8.1＝16.2	 1402522 223 15298 953.271 2438.1	(0.) (137.) (6.) (－53.) (11.76) (16.2)
二乗・累乗 4 ³ ＝64	の後続けてキーを(n-1) 回押すと、n乗が得られます。 4	(64.)
逆数計算 $\frac{1}{2}$ ＝0.5	キーを続けて押すと、逆数を求められます。 2	(0.5)
定数計算 2÷3＝5 4÷3＝7 1÷2＝－1 2÷2＝0 2×3＝6 2×4＝8 6÷3＝2 9÷3＝3	アンダーラインがひかれた数字が自動的に定数となります。 23 4 12 2 23 4 63 9	(5.) (7.) (－1.) (0.) (6.) (8.) (2.) (3.)
パーセント計算① 300の27%は？ $\frac{300 \times 27}{100}$ ＝81	30027	(81.)
パーセント計算② 11.2は56の何%？ $\frac{11.2}{56} \times 100$ ＝20	11256	(20.)
割増し計算 1,200÷(1,200×17.5%)＝1,410	1,200175	(1'410.)
割引き計算 1,200÷(1,200×17.5%)＝990	1,200175	(990.)

 メモリ計算	 メモリ計算	 メモリ計算
3×4＝12 －) 6÷0.2＝30 －18 ＋) 200 182	34 6÷0.2 200 (メモリのクリア)	(0.) (^M 12.) (^M 30.) (^M －18.) (^M 200.) (^M 182.) (182.)

Canon

KS-120TKR III
使用説明書
保証書付

 保証規定	
1. 使用説明書、本体注意ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で保証期間中に、万一故障した場合は、本保証書を本製品に添付のうえ、弊社または表記の販売店までご持参あるいはお送りいただければ、無料で修理または機械交換を行います。なお、この場合の交通費、送料および諸掛かりはお客様のご負担となりますので、予めご了承ください。	
2. 保証期間中でも次の場合は有料修理となります。 (1) 取扱上の不注意、誤用による故障および損傷（表示画面のガラス割れ等） (2) 不適切な移動・落下等による故障および損傷 (3) 弊社または表記の販売店以外での修理、改造による故障および損傷 (4) キャノン製以外の消耗品や部品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障および障害 (5) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷 (6) 本保証書の提示がない場合 (7) 本保証書にお買上年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合 (8) 接続している他の機器に起因して故障が生じた場合	
3. お客様に迅速かつ確実なサービスをお届けるため、同一機種または弊社規定に従い同等程度の仕様製品との機械交換方式を採用しています。なお、故障状況により部品交換方式を採用させていただく場合がございますので、予めご了承ください。	
4. 消耗品類は、本保証書による保証の対象とはなりません。	
5. 本製品の故障または本製品の使用によって生じた直接、間接の損害については、弊社ではその責任を負いかねますので、ご了承ください。	
6. 転居、譲り受け、贈答等の場合で表記の販売店に修理を依頼できない場合には、弊社にお問合せください。	
7. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.	
8. 本保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。	

※本保証書は、以上の保証規定により無料修理をお約束するためのもので、これにより弊社及び弊社以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。 ※保証期間経過後は弊社規定の修理・交換料金を申し受けます。 ※保証内容や修理のお問い合わせは、パーソナル機器修理受付センターまでお願い致します。	
PUB. E-IJ-1252	

税計算		
 計算例	 操作	 表示
税率の設定 (例: 5% に設定) 確認	5 	(税 % 5.) (税 % 5.)
税抜計算 税抜表示額2,000円の場合の税込額 / 税額を求めます。(税率5%)		
税込額＝？ 税額＝？	2000 	(税込 2'100.) (税額 100.)
税抜計算 税込表示額3,150円の場合の税抜額 / 税額を求めます。(税率5%)		
税抜額＝？ 税額＝？	3150 	(税抜 3'000.) (税額 150.)
◆ / キーを押すごとに、金額→税込額 / 税抜額→税額の順に表示されます。		

オーバーフロー

次の場合は、オーバーフローサイン(E)を表示して、以降の置数、演算を停止します。オーバーフローは キーを押して解除してください。

(1)演算結果の整数部が 12 桁を超えた場合

演算結果は上位 12 桁のみを表示し、下位桁はカットされます。そのとき演算結果に小数点が表示されます。最上位桁から小数点までの桁数を数えると、カットされた下位桁の桁数を知ることができます。

計 算 例	操 作 / 表 示
123,456,789,012 × 10,000 ＝1,234,567,890,120,000 エラー―	12345678901210000 (E 1'234.56789012)

(2)メモリ内容の整数部が 12 桁を超えた場合(Mが点滅します。)

メモリがオーバーフローしたときはキーを続けて押せばオーバーフローする直前のメモリ内容呼び起こすことができます。

操 作	表 示
33333333333333 123456 	(^M 999'999'999'999.) (^M E 1.00000005608.) (^M 1.00000005608.) (^M 999'999'999'999.)

◆オーバーフローした計算結果はメモリに累積されません。

(3)除数が 0 の除算を行った場合

操 作	表 示
2000	(E 0.)

動作環境

- OS
Windows® 2000 Professional/XP/7, Windows Vista®, Mac OS X 10.4～10.7の日本語版がプレインストールされていること
- パソコン
以下の条件を充たす IBM PC/AT 互換 (DOS/V) 機/Macintosh
- ① Windows® 2000 Professional/XP/7, Windows Vista®, Mac OS X 10.4～10.7の日本語版が動作可能で本体に USB ポートが装備しているもの
- ② 日本語キーボードを有しているもの
- ※ その他、Windows® 2000 Professional/XP/7, Windows Vista®, Mac OS X 10.4～10.7が推奨する動作環境に準拠。
- ※ 機器の構成により正常に動作しない場合があります。
- ※ Windows® 3.1/95/NT/98/98SE/Me, Mac OS X 10.4以下では動作しません。
- ※ 他の OS(Windows® 3.1/95/NT/98/98 SE/Me, Mac OS X 10.4以下等)からWindows® 2000 Professional/XP/7, Windows Vista®, Mac OS X 10.4～10.7にバージョンアップされたパソコンでの動作保証はいたしません。
- ・ Microsoft Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。
- ・ Macintosh は、米国および他の国で登録された、米国アップルコンピュータ社の商標です。
- ・ IBM PC/AT は米国 IBM 社の登録商標です。

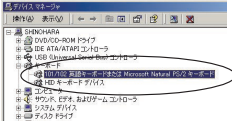
キーボードの入力がおかしい時には

Windows® 2000 Professional/XP/7, Windows Vista® をご使用の場合、USB接続の外部入力機器 (日本語キーボードやテンキー等) を接続すると、Windows® ME/2000/XPが英語 101/102キーボードと認識し、接続されている全てのキーボードが英語 101/102キーボード配列で動作する場合があります。この場合デバイスマネージャに表示されるデバイスの表示とドライバーの内容が一致せず、[@]を押すと [[] が入力されるといった問題が発生します。以下の手順にて正常に復帰させることが可能です。

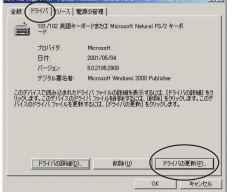
※ OSによってはデバイスマネージャ上のキーボードが最初から英語キーボードになっている場合がありますが、日本語入力が問題なく行える (例：@ が正常に入力できる) 場合は、日本語キーボードに切り替える必要はありません。そのままご使用ください。

Windows® 2000の場合

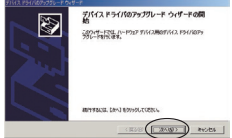
- 1 パソコンの管理者権限でWindows® にログインします。
- 2 [スタート] → [設定] → [コントロールパネル] の順に選択し、[システム] をダブルクリックします。
- 3 [ハードウェア] タブを選択し、[デバイスマネージャ] ボタンをクリックします。
- 4 [キーボード] アイコンをダブルクリックしキーボードを表示させた後、英語キーボードの名前をダブルクリックします。



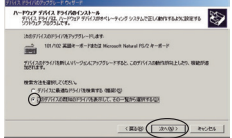
- 5 [ドライバ] タブを選択し、[ドライバの更新] ボタンをクリックします。
デバイスドライバのアップグレードウィザードが表示されます。



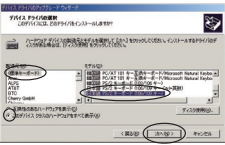
- 6 [次へ] ボタンをクリックします。



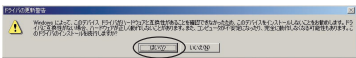
- 7 [このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する] ラジオボタンを選択して、[次へ] ボタンをクリックします。



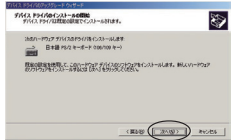
- 8 [このデバイスクラスのハードウェアをすべて表示] ラジオボタンを選択し、[製造元] から (標準キーボード)、[モデル] から現在お使いの日本語キーボード名を選択して [次へ] ボタンをクリックします。



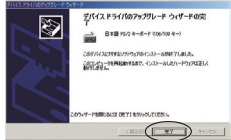
- 9 下の画面が表示されたら、[はい] をクリックします。



- 10 [デバイスドライバのアップグレードウィザード] 画面が表示されますので [次へ] ボタンをクリックします。
ドライバのインストールが開始されます。



- 11 下の画面で [完了] ボタンをクリックします。

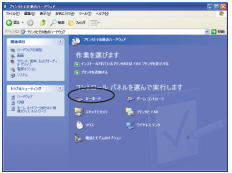


- 12 下の画面で [はい] ボタンをクリックします。
コンピューター再起動後、設定が有効になります。

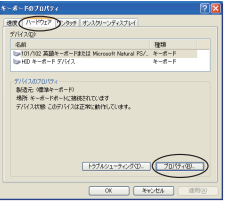


Windows® XPの場合

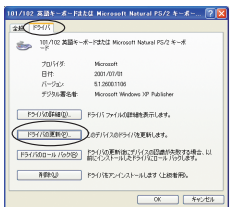
- 1 [スタート] → [コントロールパネル] → [プリンタとその他のハードウェア] の順にクリックします。
- 2 [コントロールパネルを選んで実行します] の [キーボード] をクリックします。



- 3 [ハードウェア] タブをクリックし、[デバイス] に表示されている英語キーボードの名前をクリックします。次に、[プロパティ] をクリックします。



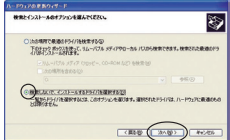
- ※ クラシック表示に設定されている場合は、[スタート] → [コントロールパネル] → [システム] → [ハードウェア] タブ → [デバイスマネージャ] → [キーボード] の順にクリックし、表示されている英語キーボードの名前をクリックします。
- 4 [ドライバ] タブをクリックし、[ドライバの更新] をクリックします。



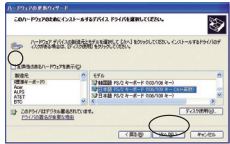
- 5 [一覧または特定の場所からインストールする (詳細)] をクリックし、[次へ] をクリックします。



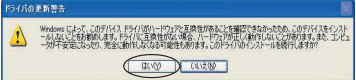
- 6 [検索しないで、インストールするドライバを選択する] をクリックし、[次へ] をクリックします。



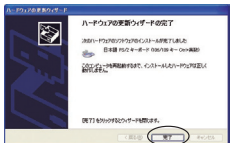
- 7 [互換性のあるハードウェアを表示] チェックボックスをオフにします。次に、[製造元] ボックスの一覧から [標準キーボード] をクリックし、[モデル] ボックスの一覧から現在お使いの日本語キーボード名をクリックします。そして [次へ] をクリックします。



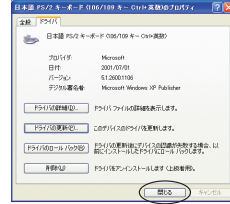
- ※ ご使用のモデルによっては、下記のメッセージが表示されます。メッセージが表示された場合は [はい] をクリックします。



- 8 [完了] をクリックします。



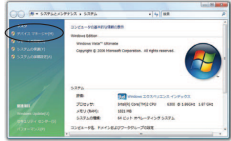
- 9 [閉じる] をクリックします。再起動する旨のメッセージが表示された場合、[はい] をクリックするとすぐにコンピュータを再起動します。



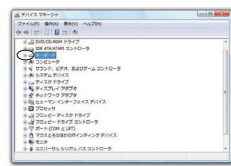
Windows Vista® の場合

方法 1

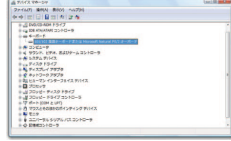
- 1 [スタート] → [コンピュータ] を右クリックし、[プロパティ] をクリックします。
- 2 システムの左側に表示されるタスク一覧から [デバイスマネージャ] をクリックします。管理者パスワード、または確認のメッセージが表示されたら、[続行] をクリックします。



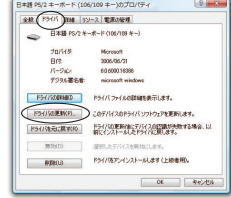
- 3 リストより [キーボード] の左側に表示されている [+] をクリックして展開します。



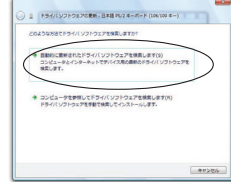
- 4 表示されたキーボードデバイス名をダブルクリックします。



- 5 [ドライバ] タブを選択し、[ドライバの更新] ボタンをクリックします。



- 6 [自動的に更新されたドライバソフトウェアを検索します] ボタンをクリックします。



- 7 [OK] をクリックし [デバイスマネージャ] を閉じます。再起動する旨のメッセージが表示された場合、コンピュータを再起動します。

上記操作解決しない場合は方法 2 の操作で、日本語キーボードを指定します。

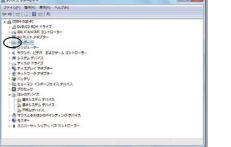
Windows® 7の場合

方法 1

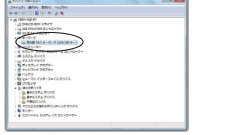
- 1 [スタート] → [コンピュータ] を右クリックし、[プロパティ] をクリックします。
- 2 システムの左側に表示されるタスク一覧から [デバイスマネージャ] をクリックします。管理者パスワード、または確認のメッセージが表示されたら、[続行] をクリックします。



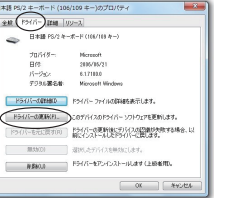
- 3 リストより [キーボード] の左側に表示されている [>] をクリックして展開します。



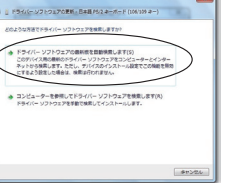
- 4 表示されたキーボードデバイス名をダブルクリックします。



- 5 [ドライバ] タブを選択し、[ドライバの更新] ボタンをクリックします。



- 6 [ドライバーソフトウェアの最新版を自動検索します] をクリックします。



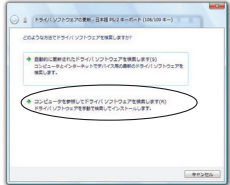
- 7 [閉じる] をクリックし [デバイスマネージャ] を閉じます。再起動する旨のメッセージが表示された場合、コンピュータを再起動します。

上記操作解決しない場合は方法 2 の操作で、日本語キーボードを指定します。

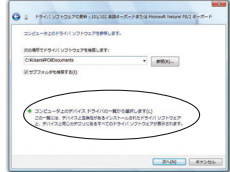
Macintoshの場合

方法 2

- 1 前述の『方法 1』の手順 1～5 までを行います。
- 2 [コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します] をクリックします。

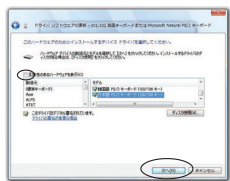


- 3 [コンピュータ上のデバイス ドライバの一覧から選択します] をクリックします。

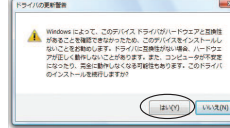


- 4 [互換性のあるハードウェアを表示] のチェックボックスをオフにします。

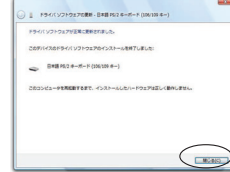
- 5 [モデル] ボックス内をスクロールして [日本語PS/2キーボード (106/109 キー)] をクリックし、[次へ] ボタンをクリックします。



- 6 下記のメッセージが表示される場合は [はい] をクリックします。



- 7 [閉じる] をクリックします。



- 8 [OK] をクリックし [デバイスマネージャ] を閉じます。再起動する旨のメッセージが表示された場合、コンピュータを再起動します。

注意

- ※ パソコンがスクリーンセーバーモードに入った時は、以下のキーを押してパソコンを通常の状態に復帰させることができます。(パソコンのスタンバイモードの解除はできません。)
- ・ 計算モード時：[戻る] キーを押すと、パソコンを通常の状態に復帰させることができます。
- ・ PC入力モード時：PC入力モード時に機能するキーであれば、どのキーを押してもパソコンを通常の状態に復帰させることができます。
- ※ パソコンの入力設定が「かな入力」、入力モードが「ひらがな」の場合、「=」「,」「.」が「ほ」「ね」とかな文字で入力されます。この現象を防ぐには、入力モードを「英数モード」にしてください。
- ※ PC入力モード時に、USBケーブルがしっかり接続されていないなどの問題があった場合には、自動的に計算モードへと切り替わり、画面に「0。」が表示されます。この場合には、接続を確認し再度 [F4] キーを押せばテンキー (PC入力) モードに戻ります。